

文化情報誌

たわわ

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。

2014
SUMMER
No.91

声で演じる。

R I S A M I Z U N O

声優、俳優、 演技者として

声優・俳優 みずの りさ 水野 理紗さん



声で演じる俳優

初めて「声優」という仕事に興味を持ったのは、中学一年生の頃です。

当時、転校したばかりの寂しさもあって、友情をテーマにしたアニメ番組に勇気づけられました。その作品に出ていた声優さんが実は二役やっけていて、しかも男の子と女の子を演じていたことに、大きなショックを受けました。

その時、声優とはまさに「声で演じる俳優」なんだ、と漠然とした憧れが生まれました。

具体的に声優を目指すようになったのは、大学生の頃。長い夏季休暇の中で、憧れていた声優の門を一度は叩いてみようと思われ、専門学校の声優クラスを受講しました。

声自分の分身に出逢えるような不思議

声優のお仕事では、現実とは違う世界を生きることができません。それは、他ではなかなか得られない楽しさです。新しい役に出逢うことは、まるで私の分身に出逢えたような不思議な体験。長い時は一年以上その役と一緒に歩むので、番組の最終回を迎えたりすると、役との別れがとて切なくなります。

楽しさの反面、苦労は数え上げたらきりがありません。その役にとって私は力不足だ、と落ち込むことももちろんありますし、この表現はどうしたらいいのか、と途方に暮れることもあります。

こういう時の答えは一つではありません。どんなことにも言えますが、より良いものを目指して行くのは果てしない道のりです。

声優と俳優

声優デビューさせていただいた時に通っていた、平塚市内にある「湘南アクターズスクール」の主宰・郷田ほづみさんは「声優は芝居が出来なければいけない」という信念の下、演技指導とアフレコ（※1）レッスンをされています。



湘南テアトロ☆デラルテの稽古風景

ここで、成長するには演技をしっかりと学ばなくては、と気付かされました。その時ちょうど、スクールの「演技科」が劇団「湘南テアトロ☆デラルテ」になるところだったので、俳優活動もスタートさせることになりました。現在、十年以上平塚で公演を続けていますが、劇団がなかなか地域に浸透しないのを寂しく思います。

「声優になりたい」「声優が好き」という声はよく耳にしますが、それが芝居とはなかなか結びつかないのかもしれませんが、その二つが必ず繋がっているとは言いませんが、芝居でやることは、声を出して役を演じることで声優と本質的に同じです。実際に芝居を見たり演じたりして、多くの方に声優や俳優の魅力の一端に触れていただきたいです。

声世界が広がる

声優・俳優になる前、私はずっと「正しいこと」と「間違っていること」という基準で物事を判断していました。でもそれは、自分だけの「ものさし」。声優の世界に入り、俳優として



芝居をし、様々な人の目線や気持ちを知っていくうちに、「全てのことに正解があるわけではない」ということを知りました。

それは私にとって大きな変化です。今は、前よりも自分のことを許せるようになって、

何度も台本を確認。役に入り込みます。肩から少し力を抜いて生きられるようになりました。昔よりもすばらになったな、と反省することもありますけどね。

声これから

これまでの多くの素晴らしい出逢いに支えられて今の私があります。もっと恩返しができるように、これからも「役者」として成長していきたいです。新しい素敵な出逢いのためにも、いつでも挑戦できる場所にいたい。そう思います。

(2014年8月 声優・俳優 水野 理紗)

※1 アフレコ 映像に合わせて音声等を録音すること。

【プロフィール】

水野 理紗 (みずの りさ)
生まれも育ちも生粋の平塚市民。
尾木プロTHE NEXT、湘南テアトロ☆デラルテ所属。
大学在学中に「メダロット魂」の秋葉原ナエ役で声優デビュー。
2014年8月現在では、TOKYO MX他で放送している「アカメが斬る！」にナジェンダ役で出演中。
声優・俳優として、アニメだけでなく、ナレーションや舞台でも活躍中。俳優として活動する、湘南テアトロ☆デラルテのスタジオ「アトリエ湘南」での新作公演は、「しゅらら〜翠川家の四人姉妹〜」(2014年10月27日から11月2日まで)



ひらつかの文化財を知ろう②

「国宝」と「指定重要文化財第一号」



木造不動明王立像(かんまん不動尊)

昭和8年1月、下吉沢の「木造不動明王立像」(かんまん不動尊)が国の文化財に指定されました。平安時代後期の丁寧で手慣れた技術が評価される、平塚市を代表する文化財です。

国指定文化財は当時「国宝」と呼ばれていましたが、昭和25年以降は文化財保護法の制定により「国宝」から「国指定重要文化財」に名称が変更になっています。

無形文化財「相模人形浄瑠璃芝居 前鳥座」は昭和32年制定の平塚市文化財保護条例による市指定重要文化財第一号です。古い操法の「鉄砲ざし」が傳承されているのが特徴で、条例制定の翌年5月に指定を受けています。昭和57年3月には神奈川県無形民俗文化財「相模人形芝居 前鳥座」として県指定され、市の指定が外れました。



前鳥座 人形芝居教室

平塚市には、国、県、市それぞれが指定する文化財があります。日頃触れることの少ない、貴重な文化財について御紹介します。

さて、一番最近の指定は、今年の1月に指定された市博物館所蔵の「鉄舌長鐙」(てつしたながあぶみ)です。専門家を交え調査した結果、全国でも数例しかない鎌倉時代の貴重なものと分りました。状態もよく、日本の馬具の変遷を窺えることが指定の理由にもなっています。



鉄舌長鐙

文化財を知るには調査・研究が欠かせません。その上で、平塚市の歴史を語るのに欠かせないものや、地域を特徴づけ、みんなが将来に残していきたいと思うものが指定されます。そして指定された文化財は、皆さんに知ってもらうことで「大切にしたい」という意識が培われ、未来へ引き継いでいけるのです。

【今回紹介した文化財の公開スケジュール】

- ・国指定重要文化財
「木造 不動明王立像」
開帳予定 9月・1月各第4土曜日
時間 午前10時から午後3時
場所 下吉沢八剱神社
- ・市指定重要文化財
「鉄舌長鐙」
場所 平塚市博物館
2階常設展示室
開場時間 火曜日～日曜日
午前9時～17時
(月曜休館)
- ・県指定無形民俗文化財
「相模人形芝居 前鳥座」
日程 11月16日(日)「第38回ひらつか民俗芸能まつり」
会場 平塚市中央公民館大ホール

第62回平塚市文化祭を開催します

開催日、内容等は下記のとおりです。
ゆっくりと芸術文化に触れてみませんか。

実施期間 平成26年10月5日(日)～11月3日(月・祝)

◆展示発表

開催日	内容	開催場所
10月9日(木)～12日(日)	筆道展・文芸部門入選作品展	中央公民館
10月15日(水)～18日(土)	書道、工芸	美術館
10月21日(火)～26日(日)	写真、絵画、彫刻	美術館



◆舞台発表

開催日	内容	開催場所
10月11日(土)	日本舞踊	中央公民館
10月12日(日)	フラダンス	
10月19日(日)	剣詩舞道、詩吟	
10月19日(日)	奇術	
10月25日(土)	洋舞	
10月25日(土)	謡曲、琵琶	
10月26日(日)	三曲、長唄	
11月1日(土)	音楽	
11月3日(月・祝)	民舞、民謡	

◆文芸大会等

開催日	内容	開催場所
10月5日(日)	ビデオ映画発表会	美術館
10月18日(土)	俳句大会	中央公民館
10月26日(日)	短歌大会	
11月3日(月・祝)	茶会	中央公民館
	川柳大会	誌上大会

平塚市文化祭【公募展】の作品を募集します!

- 応募資格 15歳以上(但し、中学生は除く)
- 応募部門 書道、工芸、写真、絵画、彫刻
- 参加料 1人 1,000円
- 搬入・受付日
 - 【書道部門】 10月13日(月・祝)9時30分～10時30分
 - 【工芸部門】 10月13日(月・祝)9時30分～10時30分
 - 【絵画・彫刻部門】 10月19日(日) 9時30分～11時
 - 【写真部門】 10月19日(日)11時～12時30分に直接平塚市美術館へ作品をお持ちください。
- その他 応募要項は公民館等に置いてあります。
- お問い合わせ 社会教育課 社会教育担当(0463-35-8123)

日本最大級の囲碁イベント 第19回湘南ひらつか囲碁まつり

1000面打ち大会が 開催されます。

木谷門下生をはじめとするプロ棋士約80名を招待し、第19回湘南ひらつか囲碁まつりを開催します。

囲碁ファンとの1000面打ち指導囲碁大会を中心に、トッププロによる囲碁教室やサイン会など、さまざまな囲碁行事を開催します。

囲碁ファンだけではなく、どなたでも楽しめるイベントです。ぜひご来場ください。

それぞれのイベントでは参加者を募集していますので、下記にお問い合わせください。



日時 **10月12日(日)**
1000面打ち13:00～16:30
全体イベント11:00～16:45

場所 **紅谷パールロード**
(雨天時は会場に設置する特設テント内)

お問い合わせ
〒254-0045 平塚市見附町15-1
(公財)平塚市まちづくり財団囲碁まつり「1000面打ち」係
☎0463-32-2237

「史跡の風景」第10回

戦国の両雄を迎え撃つ 墨染館



墨染館がある大神の集落と八幡原

永禄四年（1561）、越後の長尾景虎（上杉謙信）は関東管領上杉憲政を奉じて関東に侵入し、北条氏の本城小田原城に侵攻します。8年後の永禄十二年には甲斐の武田信玄が突如関東に出兵、武田軍も小田原城を目指して軍を進めました。この両度の軍事行動でいずれも進軍経路になっているのが、相模湾沿岸域と八王子地域を結ぶ「八王子道」です。武田家の事跡を記した「甲陽軍鑑」には、八王子方面から相模国に入った武田軍は、厚木付近で相模川を渡って相模川西岸を南下し、大神、田村、八幡、平塚に布陣したと記されています。

八王子道沿いにある大神地区は平塚市域の北東部、相模川西岸の自然堤防上に展開しています。自然堤防とは河川が運んできた土砂が堆積して形成される微高地で、河川と後背湿地に挟まれた細長い形状が特徴です。通行に適した範囲が限定されるため、自然堤防上には古くから交通路が形成され、有事の際には軍事上の要衝となります。



墨染館の中枢に位置する真芳寺

大神にある真芳寺は、この地の城跡と目される地に建てられています。この城館は文献には登場しないため当時の名称はわかりませんが、真芳寺砦（しんぼうじとりで）あるいは字名をとって墨染館（すみぞめやかた）と呼称しています。

周辺は現在宅地化が進んでいるうえ、区域の中央を東海道新幹線が横切っているため、かつての地形をつかみにくくなっていますが、明治期の地形図を見ると周辺には不自然に

屈曲した道路が多く見られます。また、水路が西側の後背湿地から東の相模川氾濫原に向けて自然堤防の微高地を横断して流れていることなど、人為的な造成による防御施設が存在がうかがえます。武田信玄の小田原攻めの際には、ここから北条方の軍勢が出撃し、小田原城防衛に貢献したと伝承されています。真芳寺の北約200m、隆盛寺の門前にある「古戦場の跡」の石碑はこの伝承に基づいて建てられました。真芳寺の開山仁忠が小田原北条氏の支族と伝えられていることを考え合わせると、寺院の建立には相模国の南北交通の要衝であり相模湾沿岸域への入口であるこの地を軍事行動の拠点として重要視する北条氏の思惑が感じられます。



真芳寺境内に建てられている「砦の跡」石碑



隆盛寺門前に建てられている「古戦場の跡」石碑

戦国の両雄を迎え撃った北条氏康と氏政の親子は、絶大な防御力を誇る小田原城に籠城してこれを退けます。しかし、歴史の表舞台に現れない最前線の戦いは、ここ大神の地でも繰り広げられたのでしよう。

平塚市文化振興基金に御協力を

平塚市文化振興基金は子どもたちの心を豊かにする文化事業に活用されています。基金に御寄附くださる方は、平塚市文化・交流課まで御一報ください。御支援をよろしくお願いたします。（電話 0463-32-2235）

基金はこうして役立てられています（平成25年度実績）

- ・市内の小学校9校をプロの音楽家が訪問し、生徒たちが生演奏を鑑賞しました。
- ・（公財）平塚市まちづくり財団が行う文化事業の一部に活用されました。（囲碁事業等）

第5回湘南ひらつか能狂言

日時 平成26年10月18日（土）
開場 14:30 開演 15:00
会場 平塚市中央公民館大ホール
演目 独吟復曲「大磯」 仕舞「盛久」「七騎落」
能 復曲「真田」
出演者 加藤真悟（能楽師）ほか
チケット代 指定席 3,000円
自由席 一般 2,000円 学生 1,000円
主催 平塚市・（公財）平塚市まちづくり財団
湘南ひらつか能狂言実行委員会

お問い合わせ
（公財）平塚市まちづくり財団
文化事業課（平塚市民センター内）TEL:0463-32-2237



写真提供 前島吉裕